

11月 定例山行 三倉岳 (701.8m)

大竹市栗谷

11月21日(日) ☆天候 快晴

参加者 22名 A班: CL 小山 SL 三浦 滝、坂井、島田、花房、秋信、三村
中島(恵)、中島(会友)、ヘルパー(会友)

B班: CL 西本 SL 杉山、三重(典)、原田、田所、宮木(一)、
得本、辻本、安永、福田、田辺、

コースタイム: 県庁北 (8:20) ⇒Bコース登山口 (9:40) ⇒朝日岳 (10:40)
⇒中ノ岳 (11:10) ⇒ 夕日岳 (11:40) B班昼食—A班: 三倉岳頂上
(11:40) 昼食—Aコース下山 (12:15) ⇒四合目からBコースへ⇒
Bコース登山口広場 (13:30) ⇒県庁北⇒広島駅

報告

栗谷に入ると三倉岳の勇姿が現れる、「オーッ!」。初冬の深い快晴の空に三つの峰が朝の陽光を浴びて「どんなもんじゃい」と威張って屹立していた。出来ることなら私も“アヤカリタイ”?

登山道中、二箇所の鑿場があり、大人数では待ち時間が長くなるので、独断と偏見で二班に分ける(予め参加者の希望も聞かずに指名:少々反省)。大型バスで愛媛県の登山グループが同時に着いたので、ウォーミングアップをそこで、A班出発、数分遅れでB班出発、中岳と朝日岳の鞍部への急登を後続の大集団に追い越されてはならじと登り、B班鞍部に着くと、ちょうどA

班は、朝日岳の頂上を終えたところにガッチン。ザックをおいて朝日岳へ。頂上ではロッククライマーと瀬戸の眺望を眼下に見る。後の集団に煽られて中岳への鑿場をよじ登り、中岳の頂上へ。へっぴり腰で絶景を堪能して、夕日岳に向かう。またしても鑿とはしご。B班夕日岳登頂、A班は三倉岳頂上に。別々に昼食を取りB班は三角点をカットして、共に無事下山。反省会も大人数で大いに盛り上がった。

後日談: 三倉岳がはじめての会員いわく、「山登りで腕と肩が張ったのは、はじめて、少々怖かったが楽しかった」
(記 西本輝彦)

